

グローバルA I ファンド（予想分配金提示型）

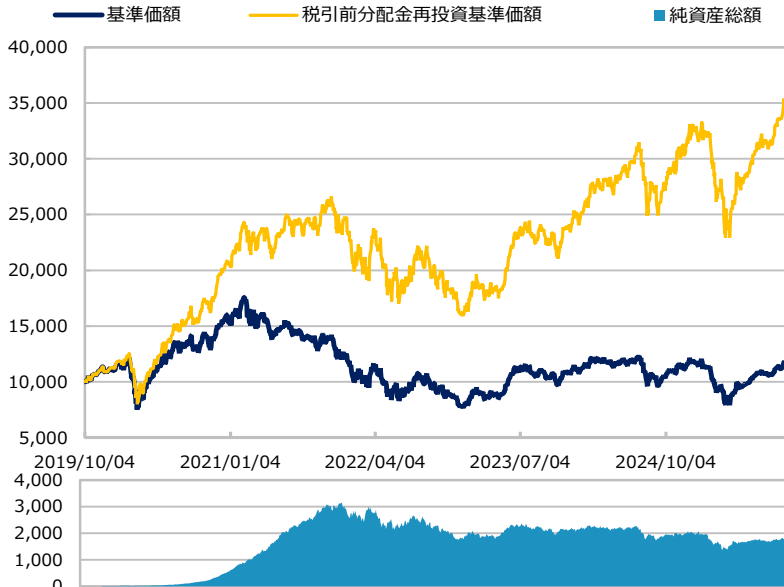
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

ファンド設定日：2019年10月07日

日経新聞掲載名：グロバA I 分

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	12,035	+836
純資産総額（百万円）	184,957	+10,861

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 ヵ月	2025/09/30	9.3
3 ヵ月	2025/07/31	14.5
6 ヵ月	2025/04/30	44.1
1 年	2024/10/31	24.3
3 年	2022/10/31	84.5
設定来	2019/10/07	267.3

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第68期	2025/06/25	0
第69期	2025/07/25	100
第70期	2025/08/25	100
第71期	2025/09/25	200
第72期	2025/10/27	200
設定来累計		14,450

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	95.1	+0.3
現金等	4.9	-0.3
合計	100.0	0.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式等	+671	+5	+666
先物等	0	0	0
為替	+383	—	—
分配金	-200	—	—
その他	-19	—	—
合計	+836	+5	+666

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルA I ファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

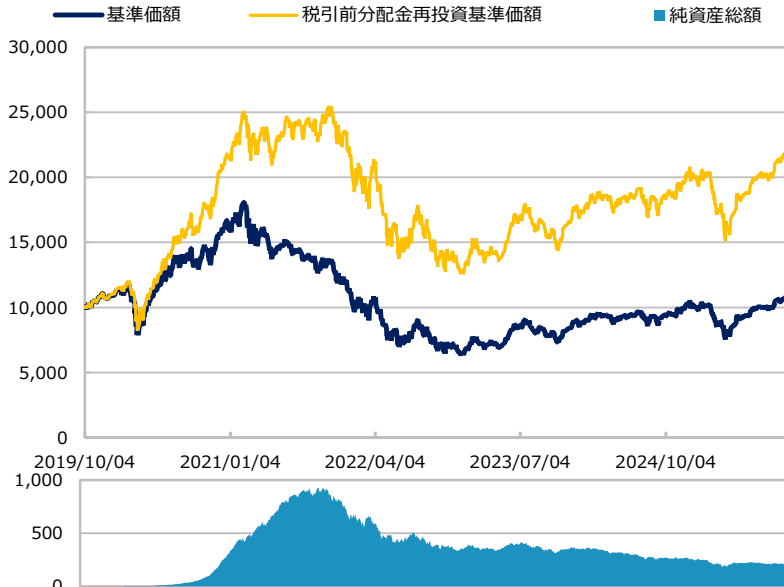
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

ファンド設定日：2019年10月07日

日経新聞掲載名：グロA I 有分

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	10,968	+493
純資産総額（百万円）	21,309	+164

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 カ月	2025/09/30	5.7
3 カ月	2025/07/31	10.2
6 カ月	2025/04/30	32.0
1 年	2024/10/31	20.0
3 年	2022/10/31	56.8
設定来	2019/10/07	125.0

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第68期	2025/06/25	0
第69期	2025/07/25	50
第70期	2025/08/25	0
第71期	2025/09/25	100
第72期	2025/10/27	100
設定来累計		9,950

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.7	+4.4
現金等	0.3	-4.4
合計	100.0	0.0

為替ヘッジ比率 97.8 -2.0

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」です。
- ※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式等	+633	+5	+628
先物等	0	0	0
為替	-23	-	-
分配金	-100	-	-
その他	-17	-	-
合計	+493	+5	+628

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。



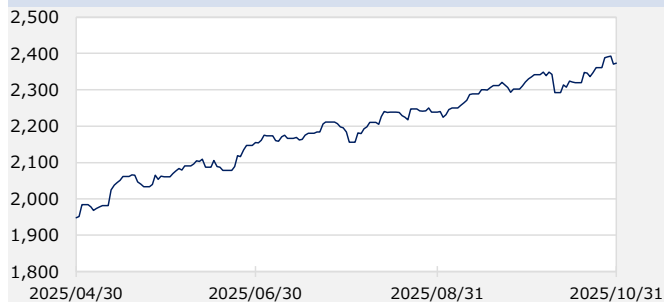
グローバル A I ファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

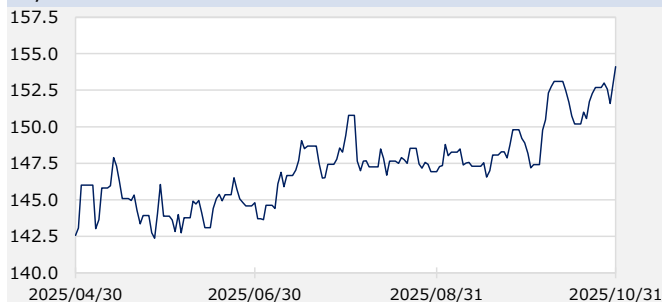
市場動向

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（アメリカドル建て）



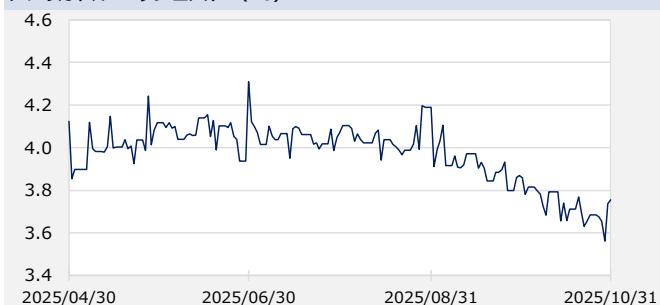
当月騰落率：2.3%

円/アメリカドル（円）



当月末：154.1 前月末：148.9 騰落率：3.5%

アメリカドル ヘッジコスト（%）



当月末：3.75% 前月末：3.87% 変化幅：-0.11%

※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。

※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。

※ ヘッジコストは該通貨の対円のスポットレートと1ヵ月物フォワードレートを用いて算出し年率換算した値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルA I ファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

※ このページは「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の情報を記載しています。

規模別構成比率 (%)

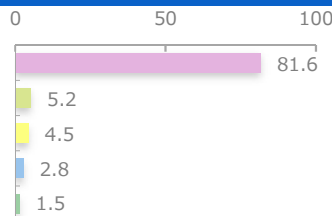
	当月末	前月比
大型株式	83.0	-0.2
中型株式	10.7	+0.8
小型株式	2.9	-0.4
その他	0.0	-0.0

※ MSCI AC World のLarge Cap、Mid Cap、Small Cap インデックスに基づく分類です。

※ その他はいずれのインデックスにも含まれない銘柄です。

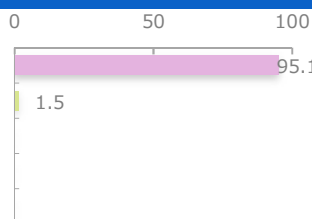
組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカ	81.6	-1.3
2 カナダ	5.2	+1.7
3 台湾	4.5	+0.3
4 オランダ	2.8	+1.3
5 中国	1.5	-0.7



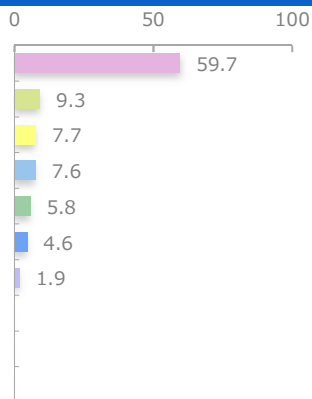
組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカドル	95.1	+0.9
2 香港ドル	1.5	-0.7



組入上位10業種 (%)

	当月末	前月比
1 情報技術	59.7	+3.9
2 金融	9.3	-2.9
3 一般消費財・サービス	7.7	-2.1
4 資本財・サービス	7.6	+1.9
5 ヘルスケア	5.8	+1.0
6 コミュニケーション・サービス	4.6	-2.1
7 公益事業	1.9	+0.6



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 52)

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
1	ブロードコム アメリカ 情報技術	8.2	ネットワーク用半導体製品を提供する大手企業。同社は「Tomahawk 6」等の複数の新製品に加えて、AI向けカスタム半導体とネットワーク機器の共同開発のため、複数年にわたってオープンAIと協力することに合意したと発表。
2	エヌビディア アメリカ 情報技術	7.9	GPU（画像処理装置）世界最大手で設計・開発・販売を手掛ける。同社はオラクルとともに「Blackwell」GPUが約10万基搭載された米国エネルギー省（DOE）最大のAIスーパーコンピュータを構築すると発表。
3	マイクロソフト アメリカ 情報技術	5.4	世界最大手のソフトウェア開発・販売会社。同社は、売上高と1株当たり利益（EPS）が市場予想を上回る四半期決算や、AIイノベーションを加速させるためオープンAIとの関係をさらに強化する長期的なパートナーシップを締結。
4	セレスティカ カナダ 情報技術	4.7	航空宇宙・防衛、通信、ヘルステック等の幅広い分野に電子機器製造受託サービスを提供。同社は、売上高とEPSが市場予想を上回る良好な四半期決算や、1.6テラビットの新しいイーサネット「DS6000/DS6001」を発表。
5	TSMC 台湾 情報技術	4.5	半導体の設計を自前で行わず、受託製造に特化する「ファウンドリ」と呼ばれる業態のパイオニアであり、世界トップシェアを誇る。AI半導体の供給が大きく伸びたこと等から7四半期連続の増収増益となる良好な四半期決算を発表。
6	キャプラー アメリカ 資本財・サービス	3.8	重機メーカー。建設、鉱業、農業、林業向け機械の設計・製造・販売や同機械用エンジンおよび部品も製造。車両等の自律運用能力強化のため鉱業向けソフトウェアを提供するRPMグローバル・ホールディングス買収に関する最終契約を締結。
7	アンフェノール アメリカ 情報技術	3.1	電気、電子、光ファイバー用コネクタや相互接続システムなどを提供。同社は、売上高とEPSが市場予想を大きく上回る良好な四半期決算を発表。また、産業用の各種センサーを提供するロチェスター・センサーズを買収したと発表。
8	テスラ アメリカ 一般消費財・サービス	3.1	AI技術を活用した自動運転機能を持つ電気自動車の開発・販売を行う。同社は売上高が市場予想を上回る四半期決算を発表。米国で電気自動車（EV）補助金が終了する中、同社はより低価格な「モデル3」および「モデルY」を発表。
9	JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー アメリカ 金融	3.0	世界有数の金融サービス会社。商業銀行業務、投資銀行業務、証券サービス、プライベートバンキング業務等、国際的金融サービスを展開。同社は従業員が利用できる大規模言語モデル（LLM）を基盤とした新たなチャットボットを導入。
10	ラムリサーチ アメリカ 情報技術	2.8	半導体ウエハー関連の製造装置やサービスを提供。同社は、売上高と1株当たり利益が市場予想を上回る良好な四半期決算や、最先端の極低温エッチング技術により、国際半導体製造装置材料協会（SEMI）からアワードを受賞したと発表。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

10月の世界の株式市場は上昇しました。米国株式は、米中間の貿易摩擦の再燃により月中に下落しましたが、その後、市場予想を上回る第3四半期決算が発表されたこと、米中間の貿易摩擦の緩和、予想を下回るインフレ率、AI経済圏に関するポジティブな発表などにより回復し、月間では上昇しました。その他の地域では、アジア株式や欧州株式も上昇しました。MSCI ACWIのセクター別で見ると、堅調な第3四半期決算が発表されたことに支えられ、情報技術が最も堅調となり、公益事業も好調でした。一方、不動産や素材が相対的に出遅れました。

マクロ経済面を見ると、アトランタ連銀のGDPNowでは、引き続き7-9月期GDP成長率の加速が見込まれています。米国の9月のインフレ率は予想を下回る3.0%となり、コア・インフレ率（除く食品、エネルギー）も予想を下回り3.0%となりました。金融政策面では、FRB（米連邦準備制度理事会）は2会合連続で0.25%の利下げを決定し、政策金利は3.75-4.00%としました。ECB（欧州中央銀行）、中国人民銀行（中央銀行）、日銀も10月にそれぞれ会合を開催し金利を据え置きました。

＜運用経過＞

10月のマザーファンドの基準価額は上昇しました。

10月は、堅調なAIインフラ投資から恩恵を享受すると見込むデータセンター等に電源管理や冷却ソリューション等を提供するパーティブ・ホールディングス、半導体製造装置を提供するASMLホールディングス、オープンAIとの提携を発表したクラウドベースのeコマース（電子商取引）・プラットフォームを運営するショッピファイ等を新規購入しました。一方、より魅力的な投資機会があると判断し、各種医療製品を提供するストライカーや、分析ソフトウェア等を提供するエラスティックを全売却しました。

（寄与度上位銘柄）

AIデータセンターや大手クラウド事業者向けに、サーバー、ストレージ（補助記憶装置）システム等の重要なハードウェア・インフラの先進的な電子機器製造サービスを提供するセレスティカが10月の寄与度上位銘柄となりました。AIが牽引するデータセンター関連の需要加速を受けて、同社は良好な四半期決算を発表しました。また、2025年の業績見通しを引き上げたことに加え、市場予想を上回る2026年の見通しを発表したことなどから株価は上昇しました。同社の高度なネットワーク機器、サーバーラック、ストレージソリューション等に対する需要は、今後数年にわたるこの投資サイクルから恩恵を受けると期待しています。

幅広い先進的な半導体、法人向けソフトウェア、セキュリティ・ソリューションを設計・開発・提供するブ

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

ロードコムも10月の寄与度上位銘柄となりました。同社がオープンAIと複数年にわたるパートナーシップを発表し、10ギガワット級のAIアクセラレーターを導入する計画を示したこと等で株価は上昇しました。今後、同社はAI関連のクラウド・コンピューティングおよびネットワークング・プログラム、ソフトウェア・インフラ、ワイヤレス半導体事業の回復によって収益と利益が大きく成長すると期待しています。

(寄与度下位銘柄)

企業向けソフトウェアを提供し、AIワークロード向けにコスト効率と高性能を両立するよう設計されたハイパースケール・プラットフォーム「Oracle Cloud Infrastructure (OCI)」等を運営するオラクルが10月の寄与度下位銘柄となりました。OCI事業の成長を背景に同社株価は年初来堅調に推移していました。しかし、今後数年期待される大規模なAI需要に対応するため、事業投資を一層進める必要があるとみられ、10月は利益確定の売りが優勢となりました。OCI事業においては大型案件の獲得見込みが拡大する中、AIワークロードに対する堅調な需要環境が追い風になるとみています。

<市場見通し及び今後の運用方針>

第4四半期は過去の傾向から株式市場で堅調な動きが見られることが多く、長期的に株式市場に対するポジティブな見通しを維持しています。2026年の業績改善が各セクターで期待され、株式市場ではテクノロジー以外の銘柄が注目されていく可能性があります。しかし、一部投資家による利益確定、米政府機関の長期閉鎖、インフレと経済成長のリスクを均衡させるための複雑な政策環境等から短期的に市場のボラティリティ（変動性）が高まる局面もあると考えています。現在、株式市場は2025年4月初めから堅調に推移しており、より良好な政策環境のもとでAI関連銘柄のアウトパフォームが今後も期待されるとみています。

新しいAIデータセンターの発表や、新しいAI推論モデルの採用を受けて、AI経済圏の支出環境は良好だとみています。一方、半導体や各種部品のサプライヤーは供給過剰とならないよう慎重に対応しています。また、大手クラウド事業者等が堅調な収益成長等に支えられ、データセンター関連の支出を増やしています。オープンAIは大規模な投資計画で注目されていますが、これはAIイノベーションを推進する大きな動きの一部に過ぎません。現在のAI投資サイクルは初期段階にあり、幅広く展開されているとともに投機的な加熱はなく、堅固なファンダメンタルズ（基礎的条件）に支えられていると考えています。

関税政策に関する不透明性が低下し、トランプ政権の減税政策やビジネス重視の政策、金融政策の緩和姿勢などからよりポジティブな環境が整いつつあります。また、「一つの大きく美しい法案」の成立により、税制優遇を

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

通じて、米国への投資がさらに促進されると思われます。FRBが利下げを再開し、金融環境の緩和と政策による刺激がこれまで出遅れていた分野も含めた広範な業種の2026年の企業業績にとって追い風となる可能性があります。このような中、テクノロジー分野にとどまらず、AI開発企業やAI活用企業など、これまで過小評価されていた分野も株式市場で注目される可能性があります。

私たちは引き続きバランスの取れたポートフォリオを維持し、AIイノベーションから恩恵を受けられる銘柄や、より複雑な環境を乗り越えられる競争力のある銘柄の発掘に努めていきます。さらなるボラティリティの上昇が予想されるなか、ポートフォリオを見直し、新たな銘柄や確信度の高い銘柄を追加して、パフォーマンスの向上に努めていく方針です。

イノベーションの観点から見ると、力強いインフラの構築期「第一段階」を経て、それを基盤としたAI開発が加速しています。また、生成AIの新しいユースケースやアプリケーションが今後数年間より大きな価値をもたらす「第二段階」に入りつつあると考えています。また、「第三段階」ではAIによって強化された高度な機能を有する製品・サービスが、産業全体の生産性、コストカット、収益機会をさらに引き上げるでしょう。

AIインフラストラクチャー：世界中でより強力なAIデータセンターが構築され、今後数年間はAIインフラへの支出は堅調に推移すると考えています。エヌビディアの次世代GPUは前世代と比較して性能が大幅に向上しており、より多くのハイパースケーラー（大規模なデータセンターを運営する主要クラウド企業）が独自のカスタムAI半導体を設計しています。これにより、より高い出力、冷却、ネットワーク要件等を処理できる新しいデータセンターの需要が高まっています。経済圏全体の多くの企業がより優れた基盤AIモデルを構築することや、その他AIモデルの改良を急いでおり、生成AIトレーニングの需要は総じて引き続き堅調です。

AI開発企業：生成AIアプリケーションは、AIエージェントの登場によって次の段階に進化しています。単一の質問に答えるAIコパイロットとは異なり、AIエージェントは、自律的に動作し、複雑なタスクの実行を可能にする意思決定力を備えています。また、簡単にカスタマイズすることができ、様々な状況に適応するために人間のような意思決定力を有しています。これにより、新しい段階の自動化を可能とし、コストを劇的に削減し、生産性を向上させることができるでしょう。私たちは、今後数年間で新たな生成AIを導入したアプリケーションが急増し、投資機会が拡大すると考えています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

AI活用企業：AIは、あらゆる産業で真の変革を推進する新たな可能性を開き続けています。多くのAI活用企業は、より高い競争力を実現するため、独自の情報を用いて固有の産業特化型AIをトレーニングする等、生成AI投資を増やしています。例えばヘルスケアでは、AIの応用により、創薬にかかる時間の大幅短縮等が期待されています。また、金融サービスでは、業務効率の向上、不正検知の改善、パーソナライズされた顧客サービスを実現するAIソリューションの構築が可能となります。自動車、消費、エネルギー、鉱業等にも同様の機会があると考えています。革新的な企業がAIを導入して効率性向上、コスト削減、新製品の投入、市場シェア獲得、収益力改善を進める初期段階だと考えています。

私たちはAI時代の初期段階にいます。AI分野は急速に進化しており、大規模な投資と技術革新が続いているため、今後10年以内に汎用AIが実現する可能性があります。AIは、金融、ヘルスケア、人型ロボットに至るまで、さまざまな分野に統合されつつ、今後数年でさらに大きな変革が起こるでしょう。

AIがもたらすディスラプション（創造的破壊）からの複合的効果は、あらゆるセクターの革新的企業に成長機会をもたらすでしょう。急速な変化とディスラプションが見られる中、今日のAI勝者が変わる可能性があるため、徹底した銘柄選択が重要だと考えています。現在のようなディスラプションと変化により特徴づけられる投資環境において、こうした投資機会を捉えるためには銘柄選択が非常に重要な鍵となると考えています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようになっています。

グローバルAIファンド（予想分配金提示型）：（為替ヘッジなし予想分配金提示型）

グローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）：（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

- グローバルAIエクイティ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界の上場株式*の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
 - AIテクノロジーの開発のほか、AIの開発に必要なコンピューティング技術、AIを活用したサービス、ソフトウェア・アプリケーションの提供を行う企業や、AIを活用したサービスを駆使して自社ビジネスを成長させる企業等に投資を行います。
 - AI（人工知能）とは、Artificial Intelligenceの略です。人間のように自ら学び発達していくコンピューター・プログラムをさします。
 - * 上場株式には、不動産投資信託（REIT）も含まれます。
 - AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが実質的な運用を行います。
 - マザーファンドの運用にあたっては、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
 - 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジなし予想分配金提示型）と（為替ヘッジあり予想分配金提示型）の2つのファンドからご選択いただけます。
 - （為替ヘッジなし予想分配金提示型）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - （為替ヘッジあり予想分配金提示型）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
 - ※ 一部の通貨については、他の通貨を用いた為替ヘッジを行う場合があります。直物為替先渡取引（NDF）を利用することもあります。
- ※ 販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 毎月の決算時に分配方針に基づき分配を行います。
 - 原則として、毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。
 - 各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じて、原則として、以下の金額の分配を目指します。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。

<ご留意いただきたい事項>

- 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。
- 基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルA I ファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

ファンドの特色

- 分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。
- あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

(為替ヘッジなし予想分配金提示型)

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

(為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。



グローバル A I ファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

投資リスク

その他の留意点

- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- (為替ヘッジあり予想分配金提示型) 為替取引を行う場合、直物為替先渡取引 (NDF) を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、当該取引において、取引先リスク (取引の相手方の倒産等により取引が実行されないこと) が生じる可能性があります。
- (為替ヘッジあり予想分配金提示型) ファンドが活用する店頭デリバティブ取引 (NDF) を行うために担保または証拠金として現金等の差入れがさらに必要となる場合があります。その場合、ファンドは追加的に現金等を保有するため、ファンドが実質的な投資対象とする資産等の組入比率が低下することがあります。その結果として、高位に組み入れた場合に比べて期待される投資効果が得られず、運用成果が劣化する可能性があります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

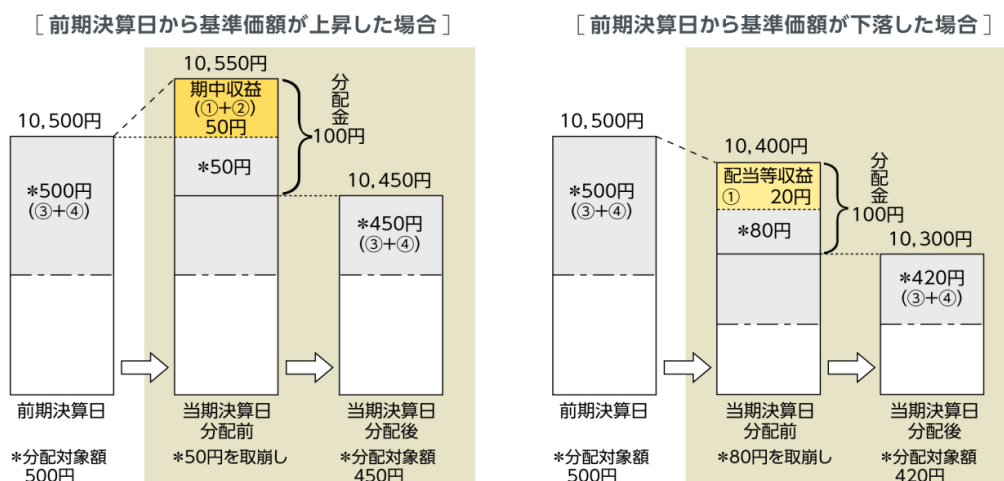
分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

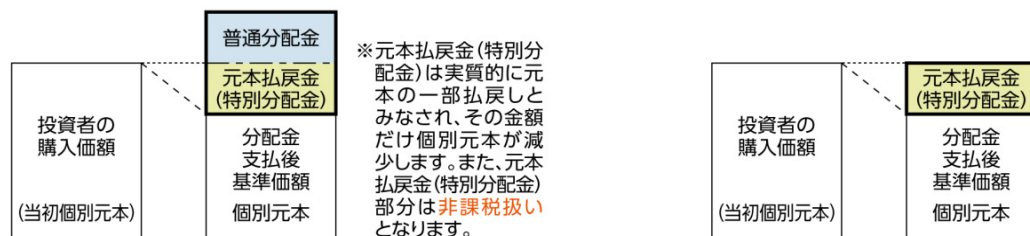
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

〔分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合〕

〔分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合〕



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

2036年9月25日まで（2019年10月7日設定）

決算日

毎月25日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

スイッチング

販売会社によっては、以下のファンドの間でスイッチングを取り扱う場合があります。

- グローバルAIファンド
- グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）
- グローバルAIファンド（予想分配金提示型）
- グローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

※グローバルAIファンドおよびグローバルAIファンド（為替ヘッジあり）については、当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



グローバル A I ファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に3.30% (税抜き3.00%) を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理费用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.925% (税抜き1.75%)の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※ 上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 【受付時間】 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社りそな銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、投資信託財産の運用を行います。 ウォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー

グローバルA Iファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会 一般社団法人	一般社団法人 投資信託協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○		○	○		
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第3号	○		○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○		○	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○	※1	
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第3号	○					
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○					
スターツ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第99号	○		○			
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長（金商）第1号	○					
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○					
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○	○				
とちぎんT T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第32号	○				※2	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○	○				
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第25号	○				※2	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○					
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○		○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○	○				
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○					
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○					
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○					
株式会社あいち銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第12号	○			○	※3	
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○				※4	

備考欄について

※1：ネット専用※2：「グローバルA Iファンド（予想分配金提示型）」のみのお取扱いとなります。※3：新規の募集はお取り扱いしておりません。※4：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社

グローバルA Iファンド

(予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融一般社団法人 先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
株式会社SBI新生銀行（SBI証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○		※1 ※5
株式会社SBI新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○		※1 ※4
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○		○		
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○				※2
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○		○		※2
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○		○		
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第44号	○				
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○		○		
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○				
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第19号	○				※2
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号	○				
株式会社八十二銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○		○		※6
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○		○		
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第12号	○				※2
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○		○		

備考欄について

※1：ネット専用※2：「グローバルA Iファンド（予想分配金提示型）」のみのお取扱いとなります。※4：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社

※5：委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券※6：委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社

グローバル A I ファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年10月31日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用